



フェアな価格 確かな信頼

電力

Power

☆RIM POWER INTELLIGENCE DAILY

★No. 1341 Jan 31 2019

Copyright (c) 2019 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

—TOKYO, 16:00 JST Jan 31 2019<Assessment Closing Time>

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

◎お知らせ

○『改訂版 やさしい石油精製の本』発刊

リム情報開発は12月3日、エネルギー入門書シリーズ『改訂版 やさしい石油精製の本』を発刊いたしました。今年8月に発売した初版本が好評につき完売となりましたことから、脱硫方法の1つであるスウィートニング処理の項目を補足で追加し、このほど改訂版として発刊する運びとなりました。原油の特性、製油所の各設備の仕組み、原油から石油製品を精製する方法、石油製品の特徴などをわかりやすく解説しています。

《A4版、1,200円(消費税、送料別)。詳細は以下のURLを御覧ください》

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/petrobook/>

◎リムエネルギー総合指数22種(レックス22、2010年平均=100)

31日のレックス22は、30日から1.29上昇し91.89です

——リムレポートのご紹介——

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/first/report>

ラインアップ:

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック(国内陸上)	ジャパン石油製品(国内海上)	LPG
石油化学	ポリオレフィン	LNG
電力	デイリーデータ	Rim Data File

上記に関するお問い合わせは電力チームまで

TEL 03-3552-2411

E-mail info@rim-intelligence.co.jp

◎電力市況

ORim Index 翌日受渡

1日受渡	東日本			前日比	西日本			前日比
24時間	11.82	～	12.82	-1.19	8.27	～	9.27	-1.38
昼間	12.26	～	13.26	-2.06	8.39	～	9.39	-2.01
ピーク	10.30	～	11.30	-2.31	6.62	～	7.62	-2.76
夜間	11.20	～	12.20	+0.02	8.11	～	9.11	-0.50
円/kWh								

ORim Index 先渡価格

限月	24時間	前日比	限月	24時間	前日比
2019年3月	9.72	+0.05	2019年11月	8.46	+0.13
2019年4月	9.30	+0.05	2019年12月	9.43	+0.13
2019年5月	8.85	+0.05	2020年1月	9.41	+0.14
2019年6月	8.62	+0.07	2020年2月	9.38	+0.14
2019年7月	9.63	+0.10	2020年3月	8.33	+0.13
2019年8月	9.63	+0.13	2020年4月	8.29	+0.13
2019年9月	9.07	+0.13	2020年5月	8.26	+0.14
2019年10月	8.50	+0.13			

円/kWh

※全国統一価格。Rim推定の発電燃料(石炭、LNG、原油、C重油)のスポット価格およびJCCを適用した発電単価がベース。大手電力9社の火力発電設備における燃料毎の比率を出して前述の発電単価を乗じ限界費用(燃料費用)を出す。過去の限界費用とスポット価格のヒストリカルから一定の比率を導き出し、限界費用に一定の比率を加算したもの。

○各社想定による月間受渡-24時間平均(全国)

単位: 円/kWh

	2019年3月	前日比	2019年4月	前日比	2019年5月	前日比	2019年6月	前日比	2019年7月	前日比
A社	9.66	+0.04	9.35	+0.03	8.96	+0.03	8.47	+0.01	9.83	0.00
B社	10.18	-0.37	9.01	0.00	8.94	-0.02	9.52	-0.01	10.59	+0.01
C社	10.23	+0.02	10.27	-0.01	10.41	-0.02	10.78	+0.03	12.69	+0.01
D社	9.66	0.00	8.57	0.00	8.57	0.00	9.58	0.00	10.65	0.00
E社	10.33	0.00	10.16	0.00	9.25	0.00	9.50	0.00	10.49	0.00
F社	9.93	0.00	9.31	0.00	8.78	0.00	9.42	0.00	11.63	0.00
Ave.	10.00	-0.03	9.46	+0.01	8.98	0.00	9.51	0.00	10.84	0.00

	2019年8月	前日比	2019年9月	前日比	2019年10月	前日比	2019年11月	前日比	2019年12月	前日比
A社	9.52	-0.01	9.03	-0.01	8.48	-0.02	8.37	-0.02	9.39	-0.02
B社	10.64	+0.01	9.61	0.00	9.11	-0.01	9.27	0.00	10.14	0.00
C社	11.84	0.00	9.69	+0.01	10.25	+0.02	10.30	+0.02	11.11	+0.02
D社	10.66	0.00	10.25	0.00	9.51	0.00	9.76	0.00	10.12	0.00
E社	10.75	0.00	10.10	0.00	9.86	0.00	9.71	0.00	10.34	0.00
F社	11.31	0.00	10.01	0.00	9.74	0.00	9.74	0.00	10.43	0.00
Ave.	10.84	0.00	9.85	0.00	9.55	-0.01	9.62	0.00	10.26	0.00

	2020年1月	前日比	2020年2月	前日比	2020年3月	前日比	2020年4月	前日比	2020年5月	前日比
A社	9.60	-0.04	9.25	-0.03	8.23	-0.02	8.19	-0.03	7.97	-0.03
B社	10.82	-0.01	11.09	-0.01	9.55	-0.01	9.24	-0.01	9.17	-0.01
C社	11.51	+0.02	11.86	+0.02	9.87	+0.02	9.71	+0.02	10.16	+0.02
D社	10.29	0.00	10.18	0.00	9.58	0.00	8.47	0.00	8.35	0.00
E社	10.46	0.00	10.05	0.00	9.83	0.00	9.10	0.00	8.14	0.00
F社	11.08	0.00	11.88	0.00	10.00	0.00	9.37	0.00	8.98	0.00
Ave.	10.66	0.00	10.79	0.00	9.71	0.00	9.05	0.00	8.66	0.00

小売電気事業者による価格で当社のアセスメントではありません。Ave. は最高値と最安値を省いた平均値。

○各社想定による月間受渡-昼間平均(全国)										単位: 円/kWh
	2019年3月	前日比	2019年4月	前日比	2019年5月	前日比	2019年6月	前日比	2019年7月	前日比
A社	10.96	+0.05	10.57	+0.03	10.51	+0.04	10.42	+0.01	14.03	0.00
B社	10.69	-0.50	9.57	0.00	9.96	-0.04	10.65	-0.01	14.82	0.00
C社	10.93	+0.02	10.90	-0.01	11.27	-0.01	11.87	+0.02	15.37	+0.01
D社	10.55	0.00	9.09	0.00	9.03	0.00	9.87	0.00	13.75	0.00
E社	10.92	0.00	10.36	0.00	9.99	0.00	10.47	0.00	13.18	0.00
F社	10.50	0.00	9.88	0.00	9.52	0.00	10.41	0.00	14.91	0.00
Ave.	10.77	-0.05	10.10	+0.01	10.00	0.00	10.49	0.00	14.38	0.00
	2019年8月	前日比	2019年9月	前日比	2019年10月	前日比	2019年11月	前日比	2019年12月	前日比
A社	13.18	-0.02	11.54	-0.01	10.00	-0.02	9.48	-0.02	10.87	-0.02
B社	14.32	0.00	11.26	0.00	10.27	+0.02	10.38	-0.02	11.16	-0.04
C社	14.28	0.00	11.13	+0.01	11.19	+0.02	11.08	+0.02	12.00	+0.02
D社	13.76	0.00	11.66	0.00	10.75	0.00	10.26	0.00	11.21	0.00
E社	12.96	0.00	11.25	0.00	10.82	0.00	10.52	0.00	10.96	0.00
F社	13.81	0.00	11.74	0.00	10.45	0.00	10.56	0.00	11.65	0.00
Ave.	13.76	0.00	11.43	0.00	10.57	0.00	10.43	0.00	11.25	-0.01
	2020年1月	前日比	2020年2月	前日比	2020年3月	前日比	2020年4月	前日比	2020年5月	前日比
A社	11.70	-0.04	10.94	-0.04	9.32	-0.02	9.31	-0.02	9.68	-0.03
B社	11.98	-0.17	12.54	-0.19	9.97	-0.06	9.53	0.00	9.58	-0.01
C社	12.42	+0.02	12.81	+0.02	10.57	+0.02	10.34	+0.02	11.01	+0.02
D社	11.62	0.00	11.53	0.00	10.39	0.00	9.01	0.00	8.90	0.00
E社	11.28	0.00	10.71	0.00	10.17	0.00	9.27	0.00	8.49	0.00
F社	12.41	0.00	13.02	0.00	10.35	0.00	9.83	0.00	9.37	0.00
Ave.	11.93	-0.05	11.96	-0.05	10.22	-0.01	9.49	0.00	9.38	-0.01

平日8~20時の平均値。小売電気事業者による価格で当社のアセスメントではありません。Ave. は最高値と最低値を省いた平均値。

○JEPX指標価格				
受渡日	2019/2/1		前日比	前週比
24時間平均	円/kWh	10.40	-1.10	-0.42
昼間平均	円/kWh	10.63	-1.90	-0.50
ピーク平均	円/kWh	8.97	-2.15	-0.83
約定総量	kWh	858,197,300	+15,769,750	+10,640,650
※JEPXのHPから価格および約定量情報を収集、これはアセスメントではなく参考値です				
昼間8:00~22:00 ピーク13:00~16:00、平均=単純平均値				

◎マーケット概況

○概況

<翌日受渡1日>

東西ともに太陽光増で軟化、独歩高が続く北海道エリアが急落

Rim Index 翌日受渡の相場は、東西ともに昼間主導で下げ幅を拡大した。24時間平均は、東日本が前日比1.19円安の12.32円、西日本が同1.38円安の8.77円。東西価格差は3.55円の東高西低で、31日受渡の3.36円から0.19円拡大した。

1日の天気は、全国的に曇天だった31日から太平

洋側中心に急回復する見通し。太陽光発電の急増が見込まれたため、昼間価格の下げ幅が大きくなった。

1日の最高気温は、31日よりも低くなる地域が広がる見通しで、予報ベースでみると、東京は31日から1度低い9度、名古屋は同1度低い8度、大阪は同1度低い8度、福岡は同3度低い7度の見込み。さらに寒冷地では、札幌が同2度低いマイナス6度、仙台が同5度低い2度、新潟が同2度低い3度、富山が同4度低

い4度の予報で、一段と厳しい寒さになりそうだ。このため、需要は強まると見られるが、売り札は前日から7.2%増の9億8,379万800kWhに増え、特に昼間は同11.3%増、ピーク時は21.4%増と、太陽光発電の増加に伴い売り投入の動きが加速。一方、買入札量は日中時間帯中心に減少する動きとなり、これが価格の上値を抑える格好となった。既報のように、これまでの傾向として、需要期に入ると太陽光発電の影響度は小さくなっていったが、不需要期に見られる動きが続いていることから、市場関係者の中には「太陽光の増減と価格動向をより綿密に分析する必要がある」（新電力の需給担当マネージャー）との声も聞かれた。また、別の市場関係者からは「全般的に価格は割安。関東でも31日は雪と騒がれていますが、価格はそれほど上昇しなかった。12月や1月が割安傾向だったので、2月もそれほど上がらないと考えるプレーヤーが多く、入札価格が低くなっていることが影響しているのかもしれない」（新電力の市場取引担当者）との指摘もあった。

また、1日受渡ではそれまで独歩高が続いていた北海道エリアが急落した。24時間平均は前日比8.70円安の13.33円、昼間平均は同13.71円安の14.15円、ピーク時平均は17.38円安の13.36円、夜間平均は同1.69円安の12.19円と、昼間中心に一気に値位置を下げた。前述のように、1日の札幌は寒さが一段と強まる見通しで、需要は一段と強まる見込み。また、北海道電力では、10月から試運転中の石狩湾新港LNG火力1号機（定格出力56万9,400kW）について、2月の営業運転開始を予定しているが、同社に確認したところ、2月下旬になるという。さらに、北海道と本州を結ぶ北本連系線の増強工事が行われており、現行の60万kWから90万kWに向上するが、稼働は3月の予定であり、連系線の増強が価格動向に影響した形跡もない。こうしたことから、市場関係者の中には「北海道エリアでは、新電力が小売市場から撤退する動きが散見されている。こうした事情を鑑み、国から北電へ高値を修正するような指摘があったのではないかと」勘繰る向きも見られたほか、「2月から何らかの事情で入札方法を変える動きが出

たのではないかと」の見方も出るなど、2月の最大需要期に急落したことに対し、首を傾げる向きが多かった。ただ、いずれの関係者も「一過性の下落の可能性もあるので、ここしばらくは価格推移を見守る必要がある」としており、しばらくは北海道エリアの価格動向が注目されそうだ。

1月26日の α 速報値1.01、 α 上限値の最高値は509.64円・最安値は505.55円

31日に公表された1月26日受渡の「 α 速報値×スポット・時間前平均価格」は、24時間平均が10.43円、昼間平均が11.26円、ピーク時平均が9.52円、夜間平均が9.28円。「スポット・時間前平均価格」は、それぞれ10.34円、10.92円、9.30円、9.52円となり、 α 速報値はそれぞれ1.01、1.03、1.02、0.97だった。

また、「 α 上限値×スポット・時間前平均価格」では、最も高かったのが18時～18時30分、19時30分～20時、22時～22時30分の509.64円、最も安かったのが0時～0時30分の505.55円で、48コマ平均は508.45円。「 α 下限値×スポット・時間前平均価格」では、最も高かったのが5時30分～6時の2.62円、最も安かったのが12時30分～13時の2.41円で、48コマ平均は2.47円だった。

一方、1月1日～26日の累計平均では、「 α 速報値×スポット・時間前平均価格」は、24時間平均が9.67円、昼間平均が9.91円、ピーク時平均が8.42円、夜間平均が9.33円。「スポット・時間前平均価格」は、それぞれ9.84円、10.17円、8.80円、9.37円で、 α 速報値はそれぞれ0.98、0.97、0.96、1.00で推移。

2月1日の β 値、北海道2.47円・東京1.92円・関西マイナスイナス1.64円・九州マイナス1.76円

1月26日受渡の β 値は、北海道が4.83円、東北と東京が1.51円、西日本がマイナス1.51円。1月1日～26日の β 値は、北海道が5.53円、東北と東京が0.91円、九州がマイナス1.65円、九州以外の西日本5エリアがマイナス1.50円。一方、最新の2月1日受渡の β 値は、北海道が2.47円、東北と東京が1.92円、九

州がマイナス1.76円、九州以外の西日本5エリアが マイナス1.64円だった。

○気象動向

気象庁が31日11時に発表した天気予報によると、主要都市の1日の最高気温は、全国的に31日よりも低くなる見込み。特に寒冷地での低下幅が大きくなる見通しで、暖房需要は一段と増加傾向になると見られる。

東日本地域(50Hz)の1日の気温は、電力の大消費地である東京の最低気温が平年から0.1度高い1度、最高気温が平年から0.5度低い9度の見込み。31日の気温は、最低が1度、最高が10度だった。北海道から新潟では、1日の札幌は最低がマイナス8度/最高がマイナス6度、仙台は同マイナス2度/同2度、新潟は同マイナス1度/同3度の予報。31日の札幌は最低がマイナス6度/最高がマイナス4度、仙台は同マイ

ナス1度/同7度、新潟は同0度/同5度の予報。

西日本地域(60Hz)の1日の気温は、電力本店所在地である主要6都市のうち大都市圏は、名古屋の最低が平年から0.3度低い0度/最高が平年から0.8度低い8度で、大阪が同0.8度高い3度/同1.0度低い8度、福岡が同0.9度高い4度/同2.7度低い7度の見込み。31日の気温は、名古屋の最低が3度/最高が9度、大阪が同6度/同9度、福岡が同6度/同10度と予報された。

1日の天気は、寒冷地で降雪が続く見通したが、他の地域は一定の晴れ間が広がりそう。関東や東北では快晴の予報も出ており、太陽光発電は急増すと見られる。

○火力発電所動向

1日の火力発電は、東京電力の東扇島LNG火力1号機(100万kW)など3基計195万kWが停止する予定。一方、ボイラーチューブからの蒸気漏洩で1月5日に停止した新日鐵住金の釜石石炭火力(13万6,000kW)が再開予定となっている。

2日の火力発電は、5基計158万3,000kWが停止し、

6基計230万8,000kWが再開する。いずれの設備も東日本となる。

3日の火力発電は、中部電力の新名古屋LNG火力7号系列5軸(24万3,000kW)が停止するが、同日中に再開する予定。他に再開予定の設備は、2日に計画停止する東京電力のLNG火力3基計127万4,000kW。

火力設備:1日の運用見通し

会社	発電所	燃料	ユニット	出力(kW)	停止区分	停止日時	復旧予定日	停止原因	最終更新日時
停止									
北海道電力	苫小牧発電所	重油	単独	250,000	計画停止	2019/2/1 19:00	2019/2/2		2019/1/30 14:50
東京電力	東扇島火力発電所	LNG	1号機	1,000,000	計画停止	2019/2/1 22:00	2019/2/2		2019/1/24 16:48
中国電力	下松発電所	炭・重油	単独	700,000	計画停止	2019/2/1 0:00	2019/3/31		2019/1/11 20:42
再開									
新日鐵住金	釜石火力発電所	石炭	-	136,000	計画外停止	2019/1/5 14:00	2019/2/1	ボイラーチューブ蒸気漏洩	2019/1/28 11:20

火力設備:2日の運用見通し

会社	発電所	燃料	ユニット	出力(kW)	停止区分	停止日時	復旧予定日	停止原因	最終更新日時
停止									
東京電力	姉崎火力発電所	LNG	6号機	600,000	計画停止	2019/2/2 22:00	2019/2/3		2019/1/21 14:23
	富津火力発電所	LNG	1-3号機	167,000	計画停止	2019/2/2 0:00	2019/2/3		2019/1/30 16:23
			2-7号機	160,000	計画停止	2019/2/2 0:00	2019/2/2		2019/1/21 14:22
			4-1号機	507,000	計画停止	2019/2/2 22:00	2019/2/3		2019/1/30 16:26
日本製紙 石巻エネルギーセンター	石巻雲雀野発電所	石炭	1号機	149,000	計画外停止	2019/2/2 6:30	2019/2/2	熱交換器の洗浄	2019/1/30 15:31
再開									
北海道電力	苫小牧発電所	重油	単独	250,000	計画停止	2019/2/1 19:00	2019/2/2		2019/1/30 14:50
東京電力	東扇島火力発電所	LNG	1号機	1,000,000	計画停止	2019/2/1 22:00	2019/2/2		2019/1/24 16:48
	富津火力発電所	LNG	2-7号機	160,000	計画停止	2019/2/2 0:00	2019/2/2		2019/1/21 14:22
電源開発(Jパワー)	磯子火力発電所	石炭	新2号機	600,000	計画停止	2019/1/31 2:05	2019/2/2	不具合補修	2019/1/29 8:55
日本製紙 石巻エネルギーセンター	石巻雲雀野発電所	石炭	1号機	149,000	計画外停止	2019/2/2 6:30	2019/2/2	熱交換器の洗浄	2019/1/30 15:31
糸魚川発電	糸魚川発電所	石炭	単独	149,000	計画停止	2019/1/23 11:30	2019/2/2		2019/1/29 8:06

火力設備:3日の運用見通し

会社	発電所	燃料	ユニット	出力 (kW)	停止区分	停止日時	復旧予定日	停止原因	最終更新日時
停止									
中部電力	新名古屋火力発電所	LNG	7-5号機	243,000	計画停止	2019/2/3 6:00	2019/2/3		2018/2/23 12:37
再開									
東京電力	姉崎火力発電所	LNG	6号機	600,000	計画停止	2019/2/2 22:00	2019/2/3		2019/1/21 14:23
	富津火力発電所	LNG	1-3号機	167,000	計画停止	2019/2/2 0:00	2019/2/3		2019/1/30 16:23
			4-1号機	507,000	計画停止	2019/2/2 22:00	2019/2/3		2019/1/30 16:26
中部電力	新名古屋火力発電所	LNG	7-5号機	243,000	計画停止	2019/2/3 6:00	2019/2/3		2018/2/23 12:37

※火力発電所動向はレポート発行日の16時30分まで情に基づいたものです。

○その他

リム試算の発電単価(1日受渡)は、LNG(熱効率44.1%)が30日受渡比で0.15円安の6.61円、石炭(同40.5%)が同0.01円高の4.65円、輸入C重油(LSF0・同38.4%)が同0.31円高の12.12円、国産C重油(硫黄分0.3%・同38.4%)が同横ばいの11.15円、原油(同38.4%)が同0.04円高の10.84円だった。

電力広域的運営推進機関(OCCTO)が公表する電力需要実績によると、1月30日の北海道から九州までの9地域の需要合計は、前年比7.8%減の29億454万4,000kWhと、全9地域で前年実績を下回った。地域別実績は、九州が同12.7%減となり、四国が同11.7%減、東北と北陸が同11.3%減と続いた。中国が同9.8%減、関西が同7.4%減、北海道が同6.8%

減、中部が同5.7%減、東京が同5.4%減に留まった。1月1日～30日の9地域累計は812億2,854万3,000kWhと、前年同期比で3.0%減少した。大都市圏は、東京が同1.8%減、中部が同1.8%減、関西が同3.7%減、九州が同6.2%減。

2月2日の天気は、降雪予報が出ている北日本の日本海側や北陸を除き、一段と晴れ間が広がりそう。一方、2日の最高気温は、全国的に上昇する見通しで、関東以西では10度を超える予報が出ている。最低気温はほぼ1日並の見込み。大都市圏の気温は、東京の最低が1度/最高が11度、名古屋が同0度/同11度、大阪が同3度/同10度、福岡が同2度/同12度の見通し。

※取引所では24時間を30分毎、計48コマに分け約定する。評価価格の24時間、昼間(8:00～22:00)、ピーク(13:00～16:00)、夜間(0:00～8:00と22:00～24:00)は約定価格を基に算出。

*市場分断：日本の電気の周波数は、東日本が50Hz、西日本が60Hzの交流。そのため50Hzを60に、60Hzを50に変える設備が周波数変換設備(FC)。FCの混雑がない場合には全国同一価格で約定するが、混雑が発生した場合、市場が分断され、東日本と西日本で異なる価格が生じる。

○先渡価格(燃料動向概況)

Rim Index 先渡価格は上げ幅を伸ばした。リム情報開発が算定する原油価格(JCC予想値)が急伸したほか、リム算定するアジアのC重油相場や豪ニューキャッスル積み的一般炭相場も総じて堅調に推移したため、先渡価格はつれ高となった。ただ、リムが算定するLNGの北東アジア着相場が続落したため、先渡価格の上げ幅は削られた。

JCC予想値のベースとなるドバイ原油ペーパースワップの月間累積値は、前日から1.22～1.57ドル反発し、期先ほど上げ幅が大きくなった。相場は58ドル台前半から60ドル台後半のバックワーデシ

ョン(逆ザヤ)となった。1月30日午後に公表のドバイ原油ペーパースワップは、前日比で1.15～1.28ドル高となり、2019年3月物が60ドル台後半に切り上がった。一方、足元(31日夕方)の国際原油相場は、WTIが54ドル台前半、ブレント原油が61ドル台後半で推移している。LNGの北東アジア着相場は続落。引き続き、需給緩和見通しが材料視され、下押し圧力が強まった。2019年3月着品はmmBtuあたり7ドル台半ばを割り込み、同4月着品は同7ドル超の水準となった。石炭相場は、30日のICEフューチャーズが総じて上昇した。2019年3月物は同0.05ドル安の

99.95ドル、同4月物は同0.15ドル高の100.20ドルとなった。

原油価格(JCC+石油石炭税)は、2019年3月物が前日から830円高の46,640円。期近との価格差は2019年6月物が840円安、2020年5月物が2,150円安だった。C重油(輸入価格+関税+石油石炭税)は、2019年3月物が同1,370円高の54,060円。期近との価格差は、2019年6月物が1,400円安、2020年5月物が8,500円安だった。

LNG(JCCおよび北東アジア着スポットの合成価格+石油石炭税)は、2019年3月物が同210円安の62,980円。期近との価格差は2019年6月物が11,490円安、2020年5月物が12,180円安。石炭(豪ニューキャッスル積価格+フレート+石油石炭税)は、2019年3月物が同20円高の13,510円。期近との価格差は2019年6月物が90円安、2020年5月物が600円安だった。

◎日本卸電力取引所<JEPX> スポット市場(翌日渡し)の各種データ

○売買入札動向

売買入札量は、31日受渡比で売りが増加、買いが小幅減だった。1日は広い地域で晴れ間が戻る見込みとなり、太陽光発電からの供給増を織り込む動きとなった。

売り入札量は、同7.2%増の9億8,379万800kWh。ただし、買い入札量を下回ったまま。昼間が同11.3%増の6億1,042万700kWh、ピーク時が同21.4%

増の1億4,503万6,150kWh、夜間が同1.2%増の3億7,337万100kWhと、昼夜通じて増えた。

買い入札量は、同1.2%減の10億3,987万7,450kWh。昼間は同1.7%減の6億4,372万7,050kWh、ピーク時は同4.8%減の1億3,489万5,750kWh、夜間は同0.3%減の3億9,615万400kWhと、売りとは対照的に昼夜通じて減少した。

1日受渡	24時間	前日比	昼間	前日比	ピーク時	前日比	夜間	前日比
売り入札量	983,790,800	7.2%	610,420,700	11.3%	145,036,150	21.4%	373,370,100	1.2%
買い入札量	1,039,877,450	-1.2%	643,727,050	-1.7%	134,895,750	-4.8%	396,150,400	-0.3%

※単位: kWh

○約定量動向

約定量は、8億5,819万7,300kWhだった。31日受渡と比べ1.9%増えた。昼間が同0.1%増の5億3,080万4,650kWh、ピーク時が同0.8%減の1億1,456万

6,300kWh、夜間が同2.3%増の3億2,739万2,650kWh。東西ともに昼間価格は下げ幅が拡大したものの、需給緩和見通しから買いの動きが伸びなかった。

1日受渡	24時間	昼間	ピーク時	夜間
約定量	858,197,300	530,804,650	114,566,300	327,392,650
前日比	1.9%	0.1%	-0.8%	2.3%

※単位: kWh

○価格動向

1日受渡のシステムプライスは、24時間が31日受渡比で1.10円安の10.40円、昼間が同1.90円安の10.63円、ピーク時が同2.15円安の8.97円、夜間が同0.01円高の10.07円だった。

東日本と西日本を比較すると、昼間平均の東西価格差は3.87円と、31日受渡の3.92円からわずかに縮小した。昼間平均は、東日本が同2.06円安の12.76円、西日本が同2.01円安の8.89円だった。ピーク時平均は東日本が同2.31円安の10.80円、西日本が同2.76円安の7.12円。夜間平均は東日本が同0.02円高

11.70円、西日本が同0.50円安の8.61円だった。

高値は、北海道が17時~17時30分(1コマ)の18.60円と、31日受渡の39.99円から急落した。東北と東京は17時~18時(2コマ)の16.00円、西日本が18時~18時30分(1コマ)の11.94円、システムプライスが7~8時(2コマ)の14.77円だった。安値は、北海道が2~5時(6コマ)の11.07円、東北と東京が12時~13時(2コマ)の8.40円、西日本が12時~13時(2コマ)の5.42円、システムプライスが12時30分~13時(1コマ)の6.70円。

各エリアの24時間平均は、北海道が13.33円と31日受渡の22.03円から大幅に下げた。東北と東京の1

日受渡の平均は12.23円、九州以外の西日本5地域が8.78円、九州が8.74円だった。

1日受渡	高値	前日比	安値	前日比	昼間	前日比	ピーク時	前日比	夜間	前日比	夜間0時～8時	前日比	夜間22時～24時	前日比
東日本	18.60	-53.5%	8.40	-6.6%	12.76	-13.9%	10.80	-17.6%	11.70	0.2%	11.25	-2.7%	13.50	10.9%
西日本	11.94	-25.3%	5.42	-34.1%	8.89	-18.4%	7.12	-27.9%	8.61	-5.5%	8.43	-8.0%	9.32	4.8%
東西格差(東-西)	6.66		2.98		3.87		3.68		3.09		2.82		4.18	

※単位:円/kWh、昼間、ピーク時、夜間は平均価格

○市場分断動向

市場分断は、東京-中部エリア間(FC=周波数変換設備)、北海道-東北エリア間(北本連系間線)、中国-九州エリア間(関門連系線)で生じた。北海道-東北間の分断時間減少と価格差縮小が目立った。

東京-中部間の分断は24時間(48コマ)。31日受渡は22時間(44コマ)だった。両エリア間で最も価格差が広がったのは、7時～7時30分(1コマ)の6.24円。約定価格は東京が16.00円、中部が9.76円だった。

北海道-東北間は15時間(30コマ)の分断で、31日

受渡の23時間30分(47コマ)から大幅に減った。両エリア間の最大価格差は、12時30分～13時(1コマ)の4.80円で、約定は北海道が13.20円、東北が8.40円だった。

中国-九州間は1時間30分(3コマ)の分断で、31日受渡の3時間(6コマ)から減少した。両エリア間で最も価格差が開いたのは、13時30分～14時(1コマ)の0.91円。約定水準は中国が6.70円、九州が5.79円だった。

1日受渡(北本連系線：北海道-東北エリア間)

※単位:円/kWh

時間	システム プライス	北海道	東北	価格差 (北-東)	システムプライスとの価格差 (北-システム) (東-システム)
0時～0時30分	9.20	11.38	10.99	0.39	2.18 1.79
0時30分～1時	8.73	11.38	10.89	0.49	2.65 2.16
1時～1時30分	8.82	11.14	10.70	0.44	2.32 1.88
1時30分～2時	8.71	11.14	10.32	0.82	2.43 1.61
2時～2時30分	8.71	11.07	10.19	0.88	2.36 1.48
2時30分～3時	8.71	11.07	9.67	1.40	2.36 0.96
3時～3時30分	8.71	11.07	9.33	1.74	2.36 0.62
3時30分～4時	8.53	11.07	9.33	1.74	2.54 0.80
4時～4時30分	8.64	11.07	10.19	0.88	2.43 1.55
4時30分～5時	8.71	11.07	10.30	0.77	2.36 1.59
5時～5時30分	9.68	11.38	10.80	0.58	1.70 1.12
5時30分～6時	9.72	11.38	10.86	0.52	1.66 1.14
10時～10時30分	10.59	13.50	12.11	1.39	2.91 1.52
10時30分～11時	10.52	13.50	11.86	1.64	2.98 1.34
11時～11時30分	8.73	13.50	10.75	2.75	4.77 2.02
11時30分～12時	8.68	13.50	10.70	2.80	4.82 2.02
12時～12時30分	7.34	11.31	8.40	2.91	3.97 1.06
12時30分～13時	6.70	13.20	8.40	4.80	6.50 1.70
13時～13時30分	8.09	13.20	9.50	3.70	5.11 1.41
13時30分～14時	8.19	13.27	10.23	3.04	5.08 2.04
14時～14時30分	8.53	13.20	10.68	2.52	4.67 2.15
14時30分～15時	8.71	13.50	10.75	2.75	4.79 2.04
15時～15時30分	9.76	13.50	11.09	2.41	3.74 1.33
15時30分～16時	10.53	13.50	11.11	2.39	2.97 0.58
16時～16時30分	11.17	16.58	13.62	2.96	5.41 2.45
16時30分～17時	11.52	14.00	13.74	0.26	2.48 2.22
17時～17時30分	13.23	18.60	16.00	2.60	5.37 2.77
17時30分～18時	13.61	18.00	16.00	2.00	4.39 2.39
18時～18時30分	13.60	16.58	15.56	1.02	2.98 1.96
21時～21時30分	10.78	13.24	12.76	0.48	2.46 1.98



1日受渡(関門連系線：中国-九州エリア間)

※単位:円/kWh

時間	システム プライス	中国	九州	価格差 (中-九)	システムプライスとの価格差 (中-システム) (中-システム)	
13時～13時30分	8.09	6.47	5.79	0.68	-1.62	-2.30
13時30分～14時	8.19	6.70	5.79	0.91	-1.49	-2.40
14時～14時30分	8.53	6.72	6.48	0.24	-1.81	-2.05

1日受渡(周波数変換設備:東京(50Hz)-中部(60Hz)間)

※単位:円/kWh

時間	システム プライス	東京	中部	東西格差 (東-中)	システムプライスとの価格差 (東-システム) (中-システム)	
0時～0時30分	9.20	10.99	8.71	2.28	1.79	-0.49
0時30分～1時	8.73	10.89	8.33	2.56	2.16	-0.40
1時～1時30分	8.82	10.70	8.22	2.48	1.88	-0.60
1時30分～2時	8.71	10.32	7.88	2.44	1.61	-0.83
2時～2時30分	8.71	10.19	7.84	2.35	1.48	-0.87
2時30分～3時	8.71	9.67	8.08	1.59	0.96	-0.63
3時～3時30分	8.71	9.33	8.12	1.21	0.62	-0.59
3時30分～4時	8.53	9.33	8.06	1.27	0.80	-0.47
4時～4時30分	8.64	10.19	8.08	2.11	1.55	-0.56
4時30分～5時	8.71	10.30	7.90	2.40	1.59	-0.81
5時～5時30分	9.68	10.80	7.84	2.96	1.12	-1.84
5時30分～6時	9.72	10.86	7.84	3.02	1.14	-1.88
6時～6時30分	11.14	12.12	8.83	3.29	0.98	-2.31
6時30分～7時	12.12	12.52	9.68	2.84	0.40	-2.44
7時～7時30分	14.77	14.94	9.72	5.22	0.17	-5.05
7時30分～8時	14.77	16.00	9.76	6.24	1.23	-5.01
8時～8時30分	11.77	13.35	9.38	3.97	1.58	-2.39
8時30分～9時	11.88	14.77	9.93	4.84	2.89	-1.95
9時～9時30分	11.13	13.48	10.20	3.28	2.35	-0.93
9時30分～10時	11.13	13.46	9.60	3.86	2.33	-1.53
10時～10時30分	10.59	12.11	9.68	2.43	1.52	-0.91
10時30分～11時	10.52	11.86	8.71	3.15	1.34	-1.81
11時～11時30分	8.73	10.75	7.89	2.86	2.02	-0.84
11時30分～12時	8.68	10.70	6.52	4.18	2.02	-2.16
12時～12時30分	7.34	8.40	5.42	2.98	1.06	-1.92
12時30分～13時	6.70	8.40	5.42	2.98	1.70	-1.28
13時～13時30分	8.09	9.50	6.47	3.03	1.41	-1.62
13時30分～14時	8.19	10.23	6.70	3.53	2.04	-1.49
14時～14時30分	8.53	10.68	6.72	3.96	2.15	-1.81
14時30分～15時	8.71	10.75	7.42	3.33	2.04	-1.29
15時～15時30分	9.76	11.09	7.21	3.88	1.33	-2.55
15時30分～16時	10.53	11.11	8.53	2.58	0.58	-2.00
16時～16時30分	11.17	13.62	9.20	4.42	2.45	-1.97
16時30分～17時	11.52	13.74	9.68	4.06	2.22	-1.84
17時～17時30分	13.23	16.00	10.59	5.41	2.77	-2.64
17時30分～18時	13.61	16.00	11.36	4.64	2.39	-2.25
18時～18時30分	13.60	15.56	11.94	3.62	1.96	-1.66
18時30分～19時	13.47	15.56	11.07	4.49	2.09	-2.40
19時～19時30分	12.71	14.77	10.59	4.18	2.06	-2.12
19時30分～20時	11.99	14.77	10.59	4.18	2.78	-1.40
20時～20時30分	11.85	14.07	10.15	3.92	2.22	-1.70
20時30分～21時	11.65	13.47	9.72	3.75	1.82	-1.93
21時～21時30分	10.78	12.76	9.68	3.08	1.98	-1.10
21時30分～22時	9.78	12.76	8.80	3.96	2.98	-0.98
22時～22時30分	11.81	14.77	9.48	5.29	2.96	-2.33
22時30分～23時	10.32	14.77	9.28	5.49	4.45	-1.04
23時～23時30分	9.99	12.34	9.28	3.06	2.35	-0.71
23時30分～24時	9.68	12.13	9.25	2.88	2.45	-0.43

◎日本卸電力取引所<JEPX> スポット市場(翌日渡し)の各種グラフ

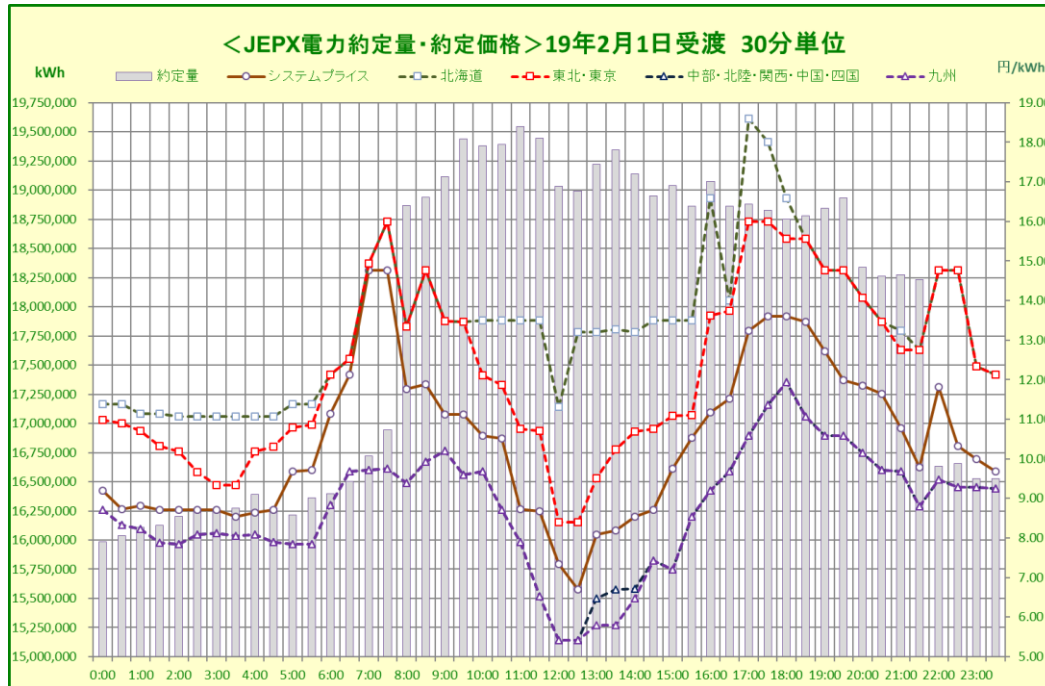
○約定量と約定価格(2月1日受渡)

北海道-東北エリア間(北本連系線)で15時間(30コマ)の市場分断が発生。

東京-中部エリア間(FC)で24時間(48コマ)の市場分断が発生。

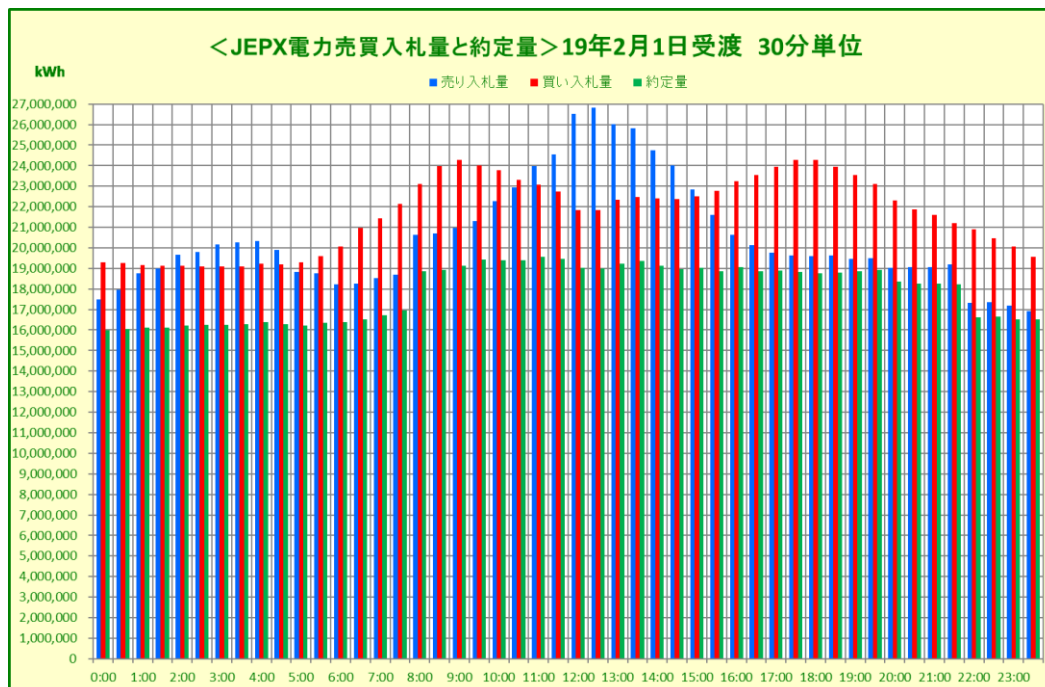
中国-九州エリア間(関門連系線)で1時間30分(3コマ)の市場分断が発生。

約定量：8億5,819万7,300kWh※最多、実勢高値：18.60円(北海道)、実勢安値：5.42円(西日本)。



○売買入札量と約定量(2月1日受渡)

売り入札量計：9億8,379万800kWh、買い入札量計：10億3,987万7,450kWh。



◎スポット・1時間前平均と α 速報値×スポット・1時間前平均のデータおよびグラフ
○1月26日受渡

スポット・時間前平均		α 速値×スポット・時間前平均		α 速報値	
24時間平均	10.34	24時間平均	10.43	24時間平均	1.01
昼間平均	10.92	昼間平均	11.26	昼間平均	1.03
ピーク時平均	9.30	ピーク時平均	9.52	ピーク時平均	1.02
夜間平均	9.52	夜間平均	9.28	夜間平均	0.97

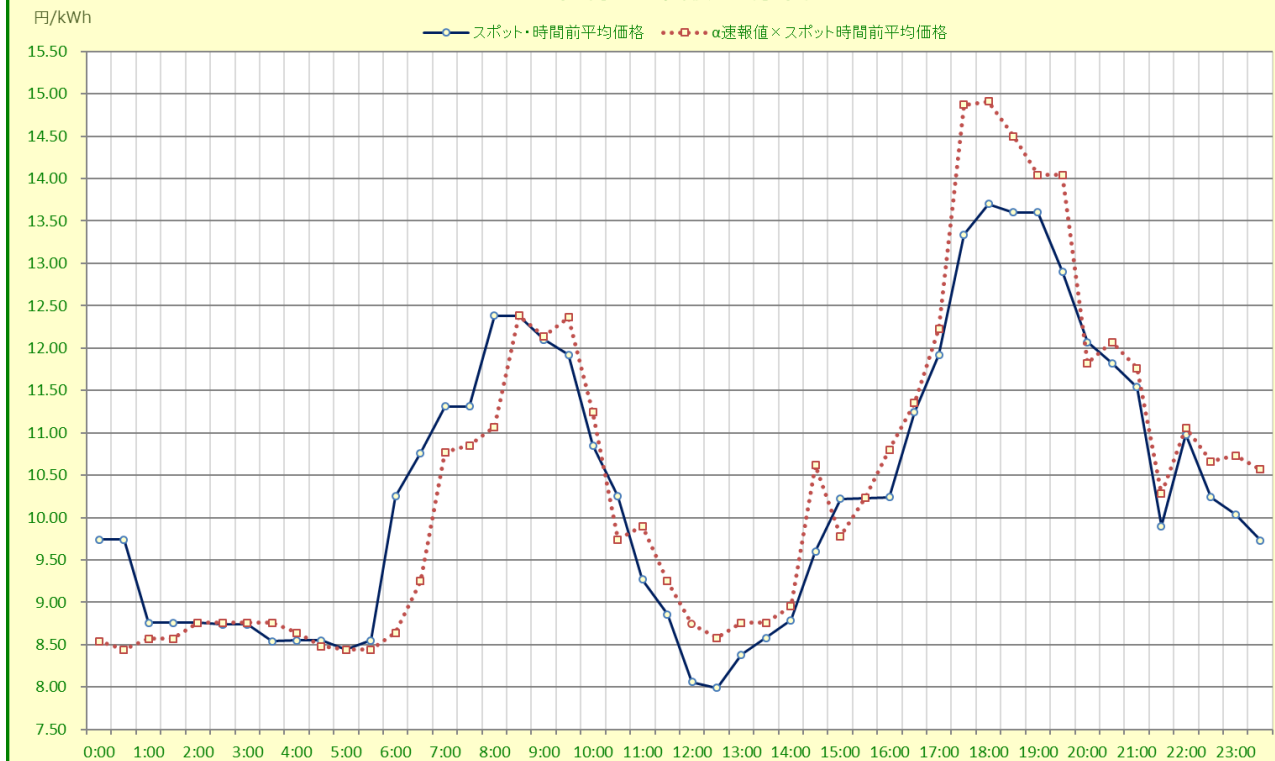
単位：円/kWh

	0:00	0:30	1:00	1:30	2:00	2:30	3:00	3:30	4:00	4:30	5:00	5:30
スポット・時間前	9.74	9.74	8.76	8.76	8.76	8.74	8.74	8.54	8.55	8.55	8.44	8.55
α ×スポット・時間前	8.54	8.44	8.57	8.57	8.76	8.76	8.76	8.76	8.64	8.48	8.44	8.44
α 速報値	0.88	0.87	0.98	0.98	1.00	1.00	1.00	1.03	1.01	0.99	1.00	0.99

	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30
スポット・時間前	10.25	10.76	11.31	11.31	12.38	12.38	12.10	11.92	10.85	10.25	9.27	8.86
α ×スポット・時間前	8.64	9.25	10.77	10.85	11.07	12.38	12.14	12.36	11.24	9.74	9.90	9.25
α 速報値	0.84	0.86	0.95	0.96	0.89	1.00	1.00	1.04	1.04	0.95	1.07	1.04

	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	17:30
スポット・時間前	8.06	7.99	8.38	8.58	8.79	9.60	10.22	10.23	10.24	11.24	11.92	13.34
α ×スポット・時間前	8.74	8.58	8.76	8.76	8.95	10.62	9.78	10.23	10.80	11.35	12.23	14.87
α 速報値	1.08	1.07	1.05	1.02	1.02	1.11	0.96	1.00	1.05	1.01	1.03	1.11

	18:00	18:30	19:00	19:30	20:00	20:30	21:00	21:30	22:00	22:30	23:00	23:30
スポット・時間前	13.70	13.60	13.60	12.90	12.07	11.82	11.54	9.90	10.98	10.24	10.04	9.73
α ×スポット・時間前	14.91	14.50	14.04	14.04	11.82	12.07	11.76	10.28	11.06	10.66	10.73	10.57
α 速報値	1.09	1.07	1.03	1.09	0.98	1.02	1.02	1.04	1.01	1.04	1.07	1.09

<JEPX>【スポット・時間前平均価格】と【 α 速報値×スポット・時間前平均価格】
19年1月26日受渡 30分単位


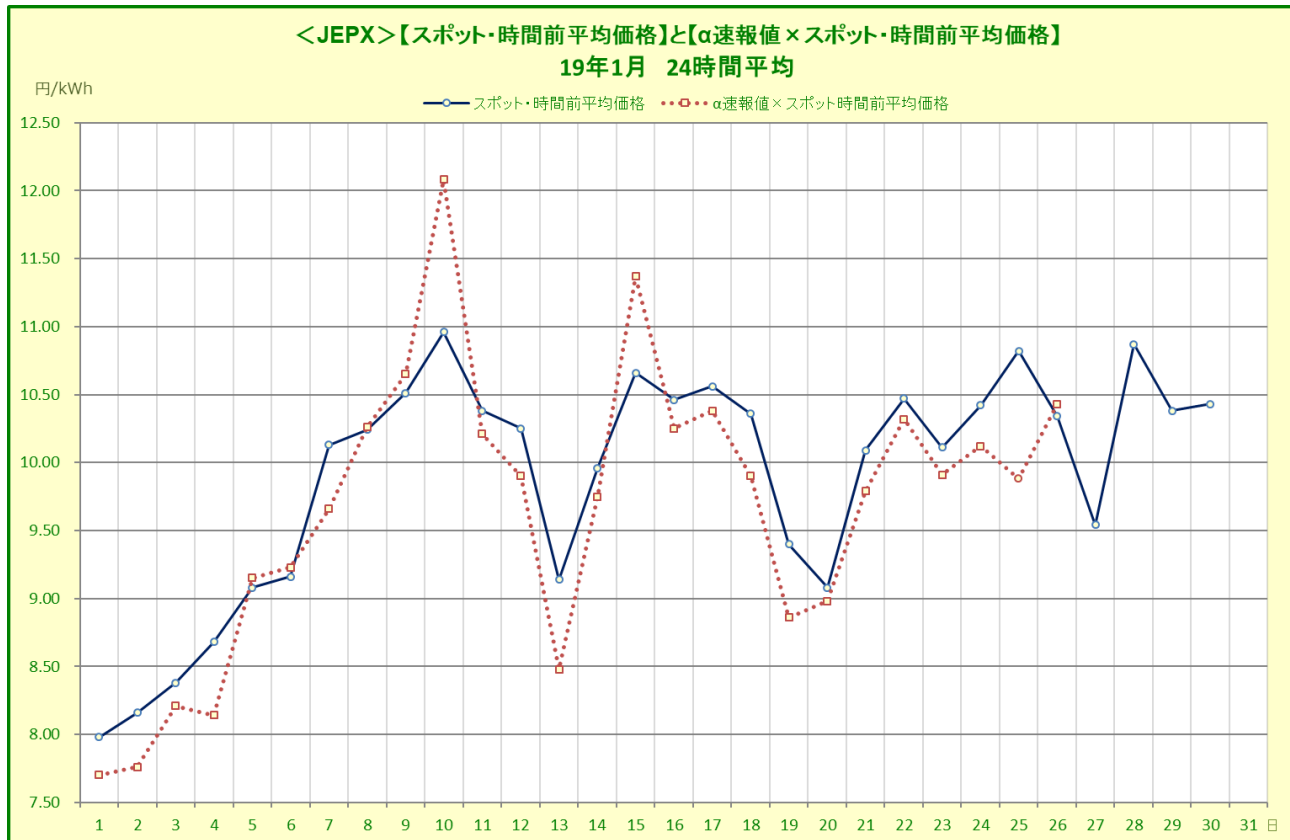
〇1月受渡・24時間平均

1月1～26日のデータをベースとした平均価格と α 速報値。

※なお、スポット・時間前平均価格については1月1～30日も併記。

スポット・時間前平均(1/1～26)		α 速報値×スポット・時間前平均(1/1～26)		α 速報値(1/1～26)		※スポット・時間前平均(1/1～30)	
24時間平均	9.84	24時間平均	9.67	24時間平均	0.98	24時間平均	9.90
昼間平均	10.17	昼間平均	9.91	昼間平均	0.97	昼間平均	10.24
ピーク時平均	8.80	ピーク時平均	8.42	ピーク時平均	0.96	ピーク時平均	8.84
夜間平均	9.37	夜間平均	9.33	夜間平均	1.00	夜間平均	9.43

単位：円/kWh


〇9エリア別のインバランス精算単価(1月)※ α 速報値ベース
1月のインバランス精算単価(26日時点)

単位：円/kWh

	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
α 速報値×スポット・時間前平均価格(24時間)	9.67								
β (エリア価格-システム価格の中央値)	5.53	0.91	0.91	-1.50	-1.50	-1.50	-1.50	-1.50	-1.65
インバランス単価($\alpha+\beta$)	15.20	10.58	10.58	8.17	8.17	8.17	8.17	8.17	8.02

※.いずれも1月1～26日の数値。

◎主要都市の週間予想気温および天気予報

○2月1日～2月7日：気象庁1月31日11時発表

【気温】最高気温・最低気温ともに、北日本は平年並か平年より低いものの、期間前半は平年より高い日もある見込み。東日本と西日本は平年並か平年より高く、平年よりかなり高い日もありそう。

【天気】北日本全域と東日本の日本海側では、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雪または雨の日が多いとみられる。1日と4日から5日ごろにかけて、強い冬型の気圧配置となり、北日本の日本海側を中心に大荒れや大しけとなる恐れがある。東日本の太平洋側と西日本では、高気圧に覆われて晴れる日もあるものの、気圧の谷や前線の影響で雲が広がりやすく、期間中頃は雨や雪の降る日がある見込み。3日ごろは低気圧の影響で荒れた天気となる所がある模様。

都市	1日 予想最低	1日 予想最高	1日 平年最低	1日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-8.0	-6.0	-7.4	-0.9	-0.6	-5.1	☁/☁
仙台	-2.0	2.0	-2.2	5.0	0.2	-3.0	☁/☁
新潟	-1.0	3.0	-0.7	4.6	-0.3	-1.6	☁/☁
東京	1.0	9.0	0.9	9.5	0.1	-0.5	☁
名古屋	0.0	8.0	0.3	8.8	-0.3	-0.8	☁
富山	-1.0	4.0	-0.8	5.5	-0.2	-1.5	☁/☁
大阪	3.0	8.0	2.2	9.0	0.8	-1.0	☁/☁
広島	3.0	8.0	1.2	9.5	1.8	-1.5	☁
高松	2.0	8.0	1.1	9.1	0.9	-1.1	☁→☁
福岡	4.0	7.0	3.1	9.7	0.9	-2.7	☁→☁
都市	2日 予想最低	2日 予想最高	2日 平年最低	2日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-7.0	-4.0	-7.4	-0.9	0.4	-3.1	☁/☁
仙台	-1.0	7.0	-2.2	5.1	1.2	1.9	☁/☁
新潟	1.0	7.0	-0.7	4.7	1.7	2.3	☁・☁
東京	1.0	11.0	0.9	9.6	0.1	1.4	☁/☁
名古屋	0.0	11.0	0.3	8.9	-0.3	2.1	☁
富山	1.0	9.0	-0.8	5.6	1.8	3.4	☁/☁
大阪	3.0	10.0	2.2	9.1	0.8	0.9	☁/☁
広島	1.0	11.0	1.3	9.5	-0.3	1.5	☁
高松	2.0	11.0	1.1	9.1	0.9	1.9	☁
福岡	2.0	12.0	3.1	9.8	-1.1	2.2	☁/☁
都市	3日 予想最低	3日 予想最高	3日 平年最低	3日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-4.0	4.0	-7.4	-0.8	3.4	4.8	☁→☁
仙台	1.0	12.0	-2.1	5.1	3.1	6.9	☁/☁
新潟	3.0	11.0	-0.6	4.7	3.6	6.3	☁→☁
東京	2.0	15.0	1.0	9.6	1.0	5.4	☁/☁
名古屋	1.0	13.0	0.3	9.0	0.7	4.0	☁
富山	4.0	13.0	-0.8	5.7	4.8	7.3	☁→☁
大阪	4.0	15.0	2.3	9.2	1.7	5.8	☁→☁
広島	3.0	12.0	1.3	9.6	1.7	2.4	☁→☁
高松	2.0	15.0	1.1	9.2	0.9	5.8	☁→☁
福岡	6.0	16.0	3.2	9.9	2.8	6.1	☁→☁
都市	4日 予想最低	4日 予想最高	4日 平年最低	4日 平年最高	最低の差	最高の差	天気
札幌	-7.0	1.0	-7.3	-0.7	0.3	1.7	☁/☁
仙台	0.0	9.0	-2.1	5.2	2.1	3.8	☁/☁
新潟	0.0	9.0	-0.6	4.8	0.6	4.2	☁/☁
東京	6.0	17.0	1.1	9.7	4.9	7.3	☁/☁
名古屋	5.0	14.0	0.4	9.1	4.6	4.9	☁/☁
富山	2.0	11.0	-0.7	5.8	2.7	5.2	☁/☁
大阪	7.0	14.0	2.3	9.3	4.7	4.7	☁/☁
広島	6.0	14.0	1.4	9.7	4.6	4.3	☁
高松	6.0	14.0	1.2	9.3	4.8	4.7	☁
福岡	6.0	13.0	3.3	10.0	2.7	3.0	☁→☁

(注)
・予想最低・最高気温、天候は気象庁による31日11時発表データ
・平年最低・最高気温の出所：気象庁
・平年の統計期間：1981年～2010年
・最低・最高気温の差＝予想最低・最高気温－平年最低・最高気温

・天気の略号
☁(晴れ)、☁(曇り)、☁(雨)、☁(雪)、
→(後)、/(時々)、/(一時)、・(～か～)、暴風(暴風)

・天気の表記例
☁→☁(「曇り後晴れ」など)、☁/☁(「雪時々晴れ」など)
☁/☁(「雨一時晴れ」など)、☁・☁(「曇りか晴れ」など)
暴風☁(「暴風雪」など)、☁暴風(「暴風を伴う雨」など)

◎電力9エリアの各種データおよびグラフ

○電力9エリアのピーク時供給予備力とRimIndex24時間

1日の「供給予備率と使用率見通し」と「予備力見通し」は31日夕刻時点の供給計画がベース。

供給予備力見通しの前日比は 31 日朝時点の予備力見通しと対比。

電力 9 エリアの供給予備力を棒グラフで積み上げ。RimIndex24 時間は折れ線グラフ。

供給予備力が少ない場合スポット価格は上昇する傾向にある。

※2019年2月1日(金)のRim Index24時間は10.55円/kWh、予備力は2,195万kWの見込み。

2018年2月2日(金)のRim Index24時間は21.48円/kWh、予備力は1,360万kWだった。

2月1日の供給予備率と使用率見通し

エリア	ピーク時供給力	予想最大電力	供給予備率	使用率	予想最大電力時間帯	気温見通し(最低/最高)
北海道	591	497	18.9%	84.1%	09～10時	-8.0 / -6.0
東北	1,579	1,364	15.8%	86.4%	09～10時	-2.0 / 2.0
東京	5,375	4,684	14.8%	87.1%	18～19時	1.0 / 9.0
東日本3エリア計	7,545	6,545	15.3%	86.7%	-	-3.0 / 1.7
中部	2,581	2,228	15.8%	86.3%	09～10時	0.0 / 8.0
北陸	576	500	15.2%	86.8%	09～10時	-1.0 / 4.0
関西	2,803	2,310	21.3%	82.4%	09～10時	3.0 / 8.0
中国	1,085	985	10.2%	90.8%	09～10時	3.0 / 8.0
四国	480	427	12.4%	89.0%	18～19時	2.0 / 8.0
九州	1,450	1,330	9.0%	91.7%	18～19時	4.0 / 7.0
中西日本6エリア計	8,975	7,780	15.4%	86.7%	-	1.8 / 7.2
9エリア合計	16,520	14,325	15.3%	86.7%	-	0.2 / 5.3

単位: 万kW、気温は℃

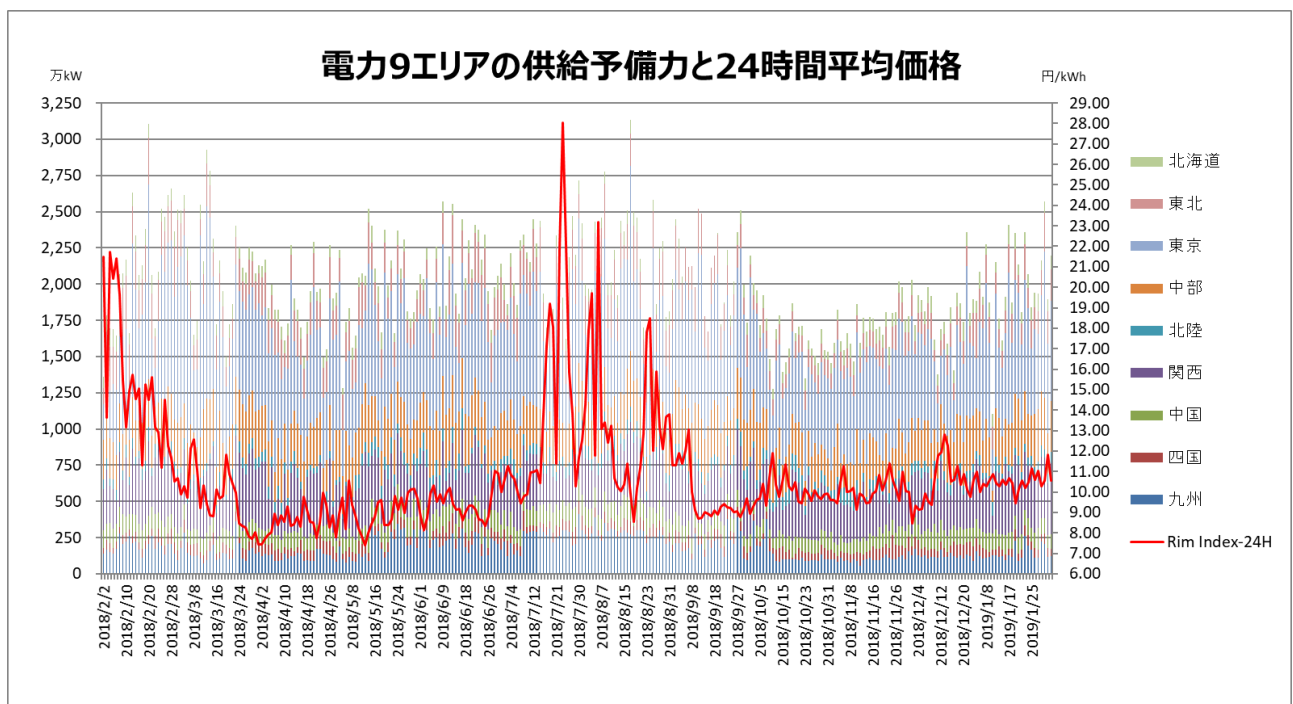
気温の地域は電力9社の本店所在地(札幌、仙台、東京、名古屋、富山、大阪、広島、高松、福岡)とし合計は平均気温

気温見通しは気象庁11時発表の予報

2月1日の電力9エリアによる供給予備力見通し

※単位: 万kW、カッコ内は前日比

	9社合計	北海道	東北	東京	中部	北陸	関西	中国	四国	九州
供給予備力	2,195(+298)	94(+8)	215(-9)	691(+72)	353(+77)	76(+7)	493(+140)	100(+6)	53(-6)	120(+3)



供給予備力: ピーク時供給力から最大電力を引いたもの。

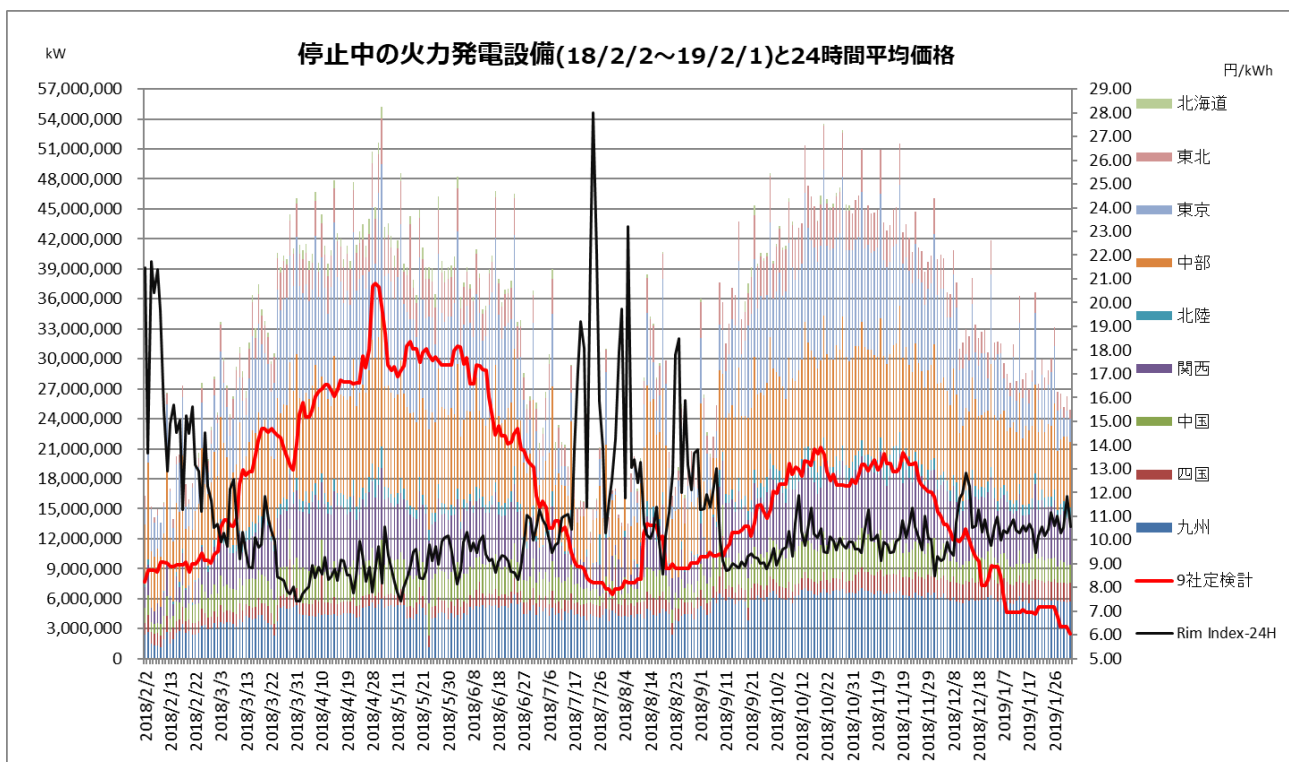
◎火力発電所動向

○1月31日に変化が確認された火力発電設備：5基・125万9,000kW

会社	発電所	燃料	ユニット	出力 (kW)	停止区分	停止日時	復旧予定日	停止原因	最終更新日時
東電	富津	ガス	2-1軸	160,000	計画停止	2019/1/31 10:00	2019/1/31		2019/1/31 9:38
	富津	ガス	2-7軸	160,000	計画停止	2019/2/2 0:10	2019/2/2		2019/1/31 17:12
四電	坂出	ガス	2号機	289,000	計画停止	2019/2/17 8:00	2019/2/17	自主点検	2019/1/31 9:32
大手電力関連設備									
鹿島 共同火力	鹿島共同(東京)	石油	4号機	350,000	計画停止	2019/2/18 1:00	2019/6/3	定期点検	2019/1/31 15:23
	鹿島共同(東京)	ガス	5号機	300,000	計画停止	2019/2/4 4:45	2019/2/5	燃料調整	2019/1/31 15:21

9社定検計(赤の折れ線グラフ)は、9社で定期検査および1カ月以上の補修停止などに入っている火力の合計出力を折れ線グラフにしたもの。9社合計の停止火力の積み上げ棒グラフに対し、赤の折れ線グラフより上が定検以外の停止供給力の合計、下が定検火力の合計。

2月1日(金)の9社合計の停止火力は推定2,492万kWに対し、定検停止分は約252万kW、定検以外の要因で約2,241万kWが停止の見込み。1年前の2018年2月2日(金)の停止火力は1,630万kWに対し定検停止分は約769万kW、定検以外の要因で約860万kWが停止した。



◎スパーク/ダーク・スプレッドおよび燃料ネットバック

○スパーク/ダーク・スプレッド

Rim Index (円/kWh, 1日受渡)※1								
24時間		昼間	ピーク	夜間				
10.55		10.83	8.96	10.16				
燃料	熱効率(%)※2	燃料価格※3 円/トン・kl	課税後※6 円/トン・kl	発電単価※4 円/kWh	スプレッド(円/kWh)※5			
	24時間	昼間	ピーク	夜間				
LNG	44.10	42,326	44,186	6.61	+3.94	+4.22	+2.35	+3.55
	50.00			5.83	+4.72	+5.00	+3.13	+4.33
	59.00			4.94	+5.61	+5.89	+4.02	+5.22
石炭	40.50	12,069	13,439	4.65	+5.90	+6.18	+4.31	+5.51
	45.00			4.18	+6.37	+6.65	+4.78	+5.98
輸入C重油	38.40	53,245	53,245	12.12	-1.57	-1.29	-3.16	-1.96
国産C重油								
硫黄分0.3%	38.40	49,000	49,000	11.15	-0.60	-0.32	-2.19	-0.99
硫黄分3.0%	38.40	45,000	45,000	10.24	+0.31	+0.59	-1.28	-0.08
原油	38.40	42,750	45,550	10.84	-0.29	-0.01	-1.88	-0.68

※1.Rim Index は東西平均の中心値。※2.熱効率の太字は一般電気事業者の2013年度平均熱効率。※3.燃料価格のLNGは「Rim LNG レポート」の北東アジア3月前半着価格を円換算、石炭は豪NEWCの2月積み価格にフレートを加算し円換算、輸入C重油は「Rim アジア石油製品レポート」のCFR JapanのLSFO 0.3%Sを円換算、国産C重油は「Rim ジャパン石油製品レポート」の2月渡しの東西平均価格、原油はRim試算の輸入CIF2月着価格を円換算。円換算に用いる為替レートは三菱東京UFJ銀行発表のTTSを適用。※4.「発電単価」は電力熱量、燃料熱量、熱効率、燃料価格から導き出したもので設備利用率などは考慮せず。いわゆる「限界費用」となっている。※5.スプレッドはRim Index から発電単価を引いた数値。※6.2016年4月1日から石油石炭税(地球温暖化対策税)が値上げとなり反映。原油・石油製品2,800円/kl(+760円)、ガス状炭化水素1,860円/t(+780円)、石炭1,370円/t(+670円)。

○燃料ネットバック

Rim Index (円/kWh)※1	受渡 2月1日	24時間 10.55	昼間 10.83	ピーク 8.96	夜間 10.16	円ドル(1/30)※
						110.42

	RIMインデックス (円/kWh)		熱効率※3	電力価格燃料ネットバック(DES、CIF)				燃料現行実勢※4		マージン
				\$/mt	\$/mmBtu	\$/bbl	Yen/kl	1月30日	単位	
LNG	24時間	10.55	44.10%	622.20	12.03			7.40	\$/mmBtu	4.63
			50.00%	707.70	13.69				\$/mmBtu	6.29
			59.00%	838.12	16.21				\$/mmBtu	8.81
	昼間	10.83	44.10%	639.16	12.36				\$/mmBtu	4.96
			50.00%	726.93	14.06				\$/mmBtu	6.66
			59.00%	860.81	16.65				\$/mmBtu	9.25
	ピーク	8.96	44.10%	525.89	10.17				\$/mmBtu	2.77
			50.00%	598.50	11.57				\$/mmBtu	4.17
			59.00%	709.27	13.72				\$/mmBtu	6.32
	夜間	10.16	44.10%	598.58	11.58				\$/mmBtu	4.18
			50.00%	680.92	13.17				\$/mmBtu	5.77
			59.00%	806.51	15.60				\$/mmBtu	8.20
石炭	24時間	10.55	40.50%	263.84	10.84			109.30	\$/mt	154.54
			45.00%	294.53	12.10				\$/mt	185.23
	昼間	10.83	40.50%	271.17	11.14				\$/mt	161.87
			45.00%	302.68	12.44				\$/mt	193.38
	ピーク	8.96	40.50%	222.20	9.13				\$/mt	112.90
			45.00%	248.27	10.20				\$/mt	138.97
	夜間	10.16	40.50%	253.62	10.42				\$/mt	144.32
			45.00%	283.18	11.63				\$/mt	173.88
輸入C重油	24時間	10.55	38.40%	404.40	10.05			466.25	\$/mt	-61.85
	昼間	10.83	38.40%	415.89	10.34				\$/mt	-50.36
	ピーク	8.96	38.40%	339.17	8.43				\$/mt	-127.08
	夜間	10.16	38.40%	388.40	9.66				\$/mt	-77.85
原油	24時間	10.55	38.40%	387.82	10.08	59.82		62.10	\$/bbl	-2.28
	昼間	10.83	38.40%	398.80	10.37	61.51			\$/bbl	-0.59
	ピーク	8.96	38.40%	325.43	8.46	50.19			\$/bbl	-11.91
	夜間	10.16	38.40%	372.51	9.68	57.46			\$/bbl	-4.64
国産C重油 硫黄分0.3%	24時間	10.55	38.40%				46,364	49,000	Yen/kl	-2,636
	昼間	10.83	38.40%				47,594		Yen/kl	-1,406
	ピーク	8.96	38.40%				39,376		Yen/kl	-9,624
	夜間	10.16	38.40%				44,650		Yen/kl	-4,350
国産C重油 硫黄分3.0%	24時間	10.55	38.40%				46,364	45,000	Yen/kl	1,364
	昼間	10.83	38.40%				47,594		Yen/kl	2,594
	ピーク	8.96	38.40%				39,376		Yen/kl	-5,624
	夜間	10.16	38.40%				44,650		Yen/kl	-350

※1.Rim Index は東西平均の中心値。※2.為替レートは三菱東京UFJ銀行発表のTTSを適用。※3.熱効率の太字は一般電気事業者の2013年度平均熱効率。※4.燃料現行実勢のLNGは「Rim LNG レポート」の北東アジア3月前半着価格、石炭は豪NEWCの2月積み価格にフレートを加算、輸入C重油は「Rim アジア石油製品レポート」のCFR JapanのLSFO 0.3%S、原油はRim試算の輸入CIF2月着価格、国産C重油は「Rim ジャパン石油製品レポート」の2月渡しの東西平均、2016年4月1日から石油石炭税(地球温暖化対策税)が値上げとなり反映。原油・石油製品2,800円/kl(+760円)、ガス状炭化水素1,860円/t(+780円)、石炭1,370円/t(+670円)。

◎電力調達および売電の入札予定・落札結果(公共機関)

○入札予定

◆環境配慮入札

施設名	予定使用量 (kWh)	予定契約 電力(kW)	電圧 区分	負荷率 (%)	契約期間	開札
◆陸上自衛隊 与那国駐屯地 (沖縄県八重山郡)(1/28発表)	3,669,000	600	高圧	69.6	2019/4/1~2020/3/31	2/7(木)
◆陸上自衛隊 祖納監視所 (沖縄県八重山郡)(1/28発表)	301,000	60	高圧	57.1	2019/4/1~2020/3/31	2/7(木)
◆国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所管内 (島根県松江市)(1/31発表)	346,000	100	高圧	39.4	2019/7/1~2020/6/30	3/12(火)
◆国土交通省中国地方整備局 松江国道事務所庁舎 (島根県松江市)(1/31発表)	504,000	133	高圧	43.1	2019/7/1~2020/6/30	3/12(火)
◆国土交通省中国地方整備局 日野川河川事務所庁舎外 (鳥取県米子市)(1/31発表)	513,700	136	高圧	43.0	2019/6/1~2020/5/31	3/8(金)
◆陸上自衛隊 武山駐屯地 (神奈川県横須賀市)(1/29発表)	6,484,992	1,904	高圧	38.8	2019/4/1~2020/3/31	2/15(金)
◆陸上自衛隊 長坂射撃場 (神奈川県横須賀市)(1/29発表)	73,493	71	高圧	11.8	2019/4/1~2020/3/31	2/15(金)
◆陸上自衛隊 松本駐屯地 (長野県松本市)(1/29発表)	1,664,684	455	高圧	41.7	2019/4/1~2020/3/31	2/19(火)
◆陸上自衛隊 習志野駐屯地 (千葉県習志野市)(1/29発表)	5,912,000	1,490	高圧	45.2	2019/4/1~2020/3/31	2/20(水)
◆陸上自衛隊 習志野演習場 (千葉県習志野市)(1/29発表)	1,031,000	1,780	高圧	6.6	2019/4/1~2020/3/31	2/20(水)
◆陸上自衛隊 久居駐屯地 (三重県津市)(1/30発表)	2,454,873	660	高圧	42.3	2019/4/1~2020/3/31	2/21(木)
◆陸上自衛隊 明野駐屯地 (三重県伊勢市)(1/30発表)	4,489,000	1,399	高圧	36.5	2019/4/1~2020/3/31	2/19(火)
◆陸上自衛隊 高知駐屯地 (高知県鹿角市)(1/30発表)	3,309,400	850	高圧	44.3	2019/4/1~2020/3/31	2/15(金)
◆北陸農政局 柏崎周辺農業水利事業所 (新潟県柏崎市)(1/31発表)	61,000	38	高圧	18.3	2019/4/1~2020/3/31	2/22(金)
◆国土交通省四国地方整備局 野村ダム管理所 (愛媛県西予市)(1/31発表)	392,506	163	高圧	27.4	2019/4/1~2020/3/31	2/26(火)
◆国土交通省四国地方整備局 水質保全設備 (愛媛県西予市)(1/31発表)	167,399	59	高圧	32.3	2019/4/1~2020/3/31	2/26(火)
◆国土交通省東北地方整備局 郡山国道事務所道路施設 (福島県郡山市)(1/31発表)	377,463	232	高圧	20.2	2019/5/1~2020/3/31 (336日)	2/26(火)
◆和歌山労働局 管内2施設 (和歌山県和歌山市)(1/31発表)	216,722	150	高圧	16.4	2019/4/1~2020/3/31	2/26(火)
千葉県 銚子高等学校 (千葉県銚子市)(1/31発表)	327,000	133	高圧	28.0	2019/4/1~2020/3/31	3/1(金)

◆環境配慮入札

施設名	予定使用量 (kWh)	予定契約 電力 (kW)	電圧 区分	負荷率 (%)	契約期間	開札
◆陸上自衛隊 松本射撃場 (長野県松本市) (1/29発表)	8,125	n. a.	低圧/電灯	-	2019/4/1~2020/3/31	2/19(火)
◆陸上自衛隊 駐屯地仮設庁舎など3件 (沖縄県八重山郡) (1/28発表)	n. a.	n. a.	低圧/電灯	-	2019/4/1~2020/3/31	2/7(木)
◆陸上自衛隊 八尾駐屯地 (大阪府八尾市) (1/29発表)	n. a.	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	2/19(火)
◆陸上自衛隊 和歌山駐屯地 (和歌山県日高郡) (1/30発表)	n. a.	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	2/19(火)
千葉県 八千代東高等学校 (千葉県八千代市) (1/31発表)	274,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/8(金)
千葉県 国府台高等学校 (千葉県市川市) (1/31発表)	310,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	2/27(水)
千葉県 国分高等学校 (千葉県市川市) (1/31発表)	328,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 松戸高等学校 (千葉県松戸市) (1/31発表)	311,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 我孫子高等学校 (千葉県我孫子市) (1/31発表)	348,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/15(金)
千葉県 佐倉高等学校 (千葉県佐倉市) (1/31発表)	399,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/15(金)
千葉県 市原緑高等学校 (千葉県市原市) (1/31発表)	174,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/4(月)
千葉県 実籾高等学校 (千葉県習志野市) (1/31発表)	262,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 船橋豊富高等学校 (千葉県船橋市) (1/31発表)	212,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 流山南高等学校 (千葉県流山市) (1/31発表)	253,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/8(金)
千葉県 市原八幡高等学校 (千葉県市原市) (1/31発表)	214,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 沼南高柳高等学校 (千葉県柏市) (1/31発表)	306,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 船橋北高等学校 (千葉県船橋市) (1/31発表)	239,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 流山おおたかの森高等学校 (千葉県流山市) (1/31発表)	320,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/8(金)
千葉県 印旛明誠高等学校 (千葉県印西市) (1/31発表)	373,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)
千葉県 千葉聾学校 (千葉県千葉市) (1/31発表)	314,000	n. a.	n. a.	-	2019/4/1~2020/3/31	3/6(水)

レポートに掲載の情報の著作権はリム情報開発(株)に帰属します。無断転送、転載は著作権法により禁止されています。

◎地域別電力需要実績(電力広域的運営推進機関)
○9エリア実績(1月30日)

※グラフは金曜日のみ掲載します。

地域別電力需要実績					送電端ベース		
2019年1月30日							
	最大電力	時間帯	前日比	前年比	日量	前日比	前年比
北海道	4,778	6～7	1.1%	-3.7%	105,113	-0.6%	-6.8%
東北	12,519	9～10	-5.5%	-10.6%	274,573	-5.3%	-11.3%
東京	45,331	9～10	-1.4%	-5.4%	945,290	0.7%	-5.4%
中部	22,217	9～10	-0.6%	-3.4%	451,670	-2.5%	-5.7%
北陸	4,647	9～10	-6.0%	-11.1%	101,323	-5.0%	-11.3%
関西	23,119	9～10	-1.4%	-5.4%	472,700	-2.3%	-7.4%
中国	9,706	8～9	2.3%	-6.9%	199,394	-1.1%	-9.8%
四国	4,174	8～9	-0.3%	-11.7%	87,933	0.1%	-11.7%
九州	12,614	8～9	-0.6%	-12.5%	266,548	0.5%	-12.7%
9地域計	139,105	-	-1.4%	-6.7%	2,904,544	-1.3%	-7.8%

単位: 最大電力=MW、日量=MWh

地域別合計日電力量			
2019年1月1日～30日			
エリア	日電力量合計	前年同期	前年比
北海道	3,137,060	3,113,786	0.7%
東北	8,091,235	8,168,942	-1.0%
東京	26,347,949	26,825,853	-1.8%
中部	12,078,638	12,295,730	-1.8%
北陸	2,809,739	3,002,316	-6.4%
関西	13,090,222	13,592,670	-3.7%
中国	5,590,992	5,915,050	-5.5%
四国	2,447,008	2,657,808	-7.9%
九州	7,635,700	8,136,178	-6.2%
9地域計	81,228,543	83,708,333	-3.0%

単位: MWh

◎マーケットニュース
○燃料動向
指標原油市況＝ブレントとWTIは続伸、FOMCの利上げ見送りでドル安 31日
【概況】

東京時間31日15時30分現在、インターコンチネンタル取引所(ICE)の北海ブレント原油相場は前日の海外市場の大引け後に続伸した。ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)のWTI原油相場も前日の大引け価格を上回った。ブレント原油の期近3月限は前日の海外市場での引け値に比べ58セント高の62.23ドル/バレル、WTI原油の期近3月限は同38セント高の54.61ドル/バレル。一方、ドバイ原油現物の期近3月物は前日の15時30分時点との比較で61セント高の61.84ドル/バレル。

ブレントおよびWTI原油は続伸。米連邦準備理事会(FRB)が30日の米連邦公開市場委員会(FOMC)で追加利上げを見送ったことを受け、ドル相場が下落。ドル建ての商品に対する割安感が広がり、買いが入った。

【見通し】

今夕以降のブレント原油相場の当限の相場見通しについて、大手商品取引員のエネルギートレーダーは、「まずは本日夜にも明らかになる各産油国による1月の原油輸出量に注意する必要がある」と指摘した。石油輸出国機構(OPEC)加盟国および非加盟国は1月から合計日量120万バレル減産することを昨年12月に決定した。「この減産計画が、実際に守られているかどうかには市場は注目している。減産幅が日量120万バレルに近ければ、原油相場は支えられるものの、もし90～80万バレルに留まれば、原油市場には失望売りが出るだろう」との見方を同氏は示した。また、31日まで開かれている米国と中国による閣僚級貿易協議にも注意が必要と指摘した。

静ガス＝中国向けにコンテナでLNG輸出へ

静岡ガスは中国のクリーンエネルギーと、コンテナによるLNGの販売契約を締結した。契約期間は2019～2021年の3年間で、静ガスは年間1,600トン进行供給する。静ガスはクリーンエネルギーとアンツエネルギーにLNGを販売し、最終的に泰山ガスと日照市公共交通集団がこれらLNGを引き取る。LNGは容量約18トンのISOコンテナに積載され、静ガスの袖師基地から中国の大連港へ輸送される。静ガスは3月末までを目途に試験的にコンテナでLNGを出荷する。同契約に基づく供給が実際に始まるのは11月以降になりそうだ。

一方今回の契約数量は年間1,600トンと比較的、少量であるため、同契約が静ガスの需給に与える影響は限定的になりそうだ。また中国北部の大連向けの供給であるため、冬場の最需要期の供給量が多いスケジュールが組まれると見られる。中国では、LNGをコンテナで輸入する動きが見られる。これまでにカナダなどから輸入しているほか、西部ガスも中国向けにISOコンテナでLNGの輸出した実績がある。

○旧一般電気事業者

北電＝試運転中の石狩湾新港LNG火力1号機、営業運転は2月下旬の予定

北海道電力は、2018年10月から試運転を開始している同社初のLNG火力である石狩湾新港LNG火力1号機(定格出力56万9,400kW、小樽市)について、営業運転への移行を2月下旬に予定している。同社の広報担当者が31日、明らかにした。なお、具体的な日付については明言を避けた。北電は、2012年5月に泊原発3号機(91万2,000kW)が定期点検で停止して以降、石油火力と石炭火力を中心に需給面およびコスト面で厳しい運用を強いられているが、今回のLNG火力は経済性および安定供給の一助を担う設備として期待されている。

石狩湾新港LNG火力発電所は、総出力170万8,200kWのLNG火力として、まず1号機が2015年8月に着工された。2号機(56万9,400kW)は2023年3月の着工予定で営業運転は2026年12月、3号機(56万9,400kW)は2027年3月の着工予定で営業運転は2030年12月にそれぞれ予定されている。

東北電＝石巻ガスと都市ガス販売などについて業務提携

東北電力(本社＝宮城県仙台市)は1月30日、都市ガスの法人向けの販売などについて石巻ガス(本社＝宮城県石巻市)と業務提携したと発表した。東北電力は今後、石巻ガスが都市ガスを供給するエリアで、工場などの法人向けに都市ガスの販売拡大を目指す。東北電力の関係者は、「東北電力と石巻ガスのそれぞれのノウハウを活かし、顧客のニーズに見合ったサービスを提供する意向」と伝えている。

この業務提供で、東北電力は法人顧客向けに電気とガスのセットを販売する他、重油などの燃料を使用している工場などに燃料転換することを勧めていく方針だ。東北電力が都市ガスの販売を開始する時期は現時点では決定していないものの、東北電力の関係者は「導管や供給については石巻ガスの都市ガスを使用するため、販売開始まではそう時間はかからない」と指摘している。また、民生向けの都市ガスの販売についても東北電力は検討しているようだ。石巻ガスは東北電力の子会社である東北天然ガスからローリーでLNGを購入しており、石巻ガスの設備で熱量を調整や付臭作業を行い、都市ガスとして販売している。

◇

※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天



災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

事業所一覧

[東京本社]	Tel: 03-3552-2411, Fax: 03-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp
[シンガポール支局]	Tel: (65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894, e-mail: hagimoto@rim-intelligence.co.jp
[北京支社]	Tel: (86) 10-6498-0455, Fax: (86) 10-6428-1725 e-mail: guanhong@rimbj.com
[インド支局]	Tel: (91)-98795-50717, e-mail: kamlesh@rim-intelligence.co.jp
[上海支社]	Tel: (86)-21-5111-3575, e-mail: rim_sh@rim-intelligence.co.jp

(C) 2019 RIM INTELLIGENCE CO.